



冬のカラスにご用心 捨てた果実、ねらわれてます



- ◆ 売りものにならないりんごや食べないぶどうの粒を捨てていませんか？
- ◆ いつの間にかカラスを「餌付け」してしまっているかも……？

- ✓ 知能はヒトの
6～8歳くらい
- ✓ 視力は人の5倍
- ✓ 紫外線も見える
- ✓ 暗くても見える

- ✓ 耳は人と同じくらい
- ✓ 味や匂いをあまり区別できない
- ✓ 1週間食べないと死んでしまう



- ✓ 1日50～100gのエサを食べる
- ✓ 毎年3～5個の卵を産む
- ✓ 群れは1万羽を超えることも
- ✓ 半径30kmを移動できる



被害を少なくする工夫 & 個体数を減らす対策



- 「かかし」にはすぐに慣れてしまう
キラキラするもの・音の出るもの・凧や風船…
- 始めのうちは目新しいから警戒する
- いずれ安全なものだと見破られてしまう

- ✓ 慣れた「かかし」はすぐに撤去する
- ✓ 設置するものは一度に1種類だけ
- ✓ たくさんのものを同時に設置しない
- ✓ 常に手を替え、品を替える

- 捕獲と駆除だけで減らすのはむずかしい
- 捕まえる以上に増えてしまっている
- 捕まるのは幼鳥など弱い個体がほとんど
(冬に飢え死にする個体の先取り)

カラスを減らすためには……？
(ウラ面へ)





冬にできるカラスを減らす工夫とは…？

ヒトが食べない果実でもカラスにとって「ごちそう」
カラスは「ごちそう」がどこにあるかよく見て、よく覚えています



賢いカラスも食べなければ死んでしまう…

エサを見つけられないようにすれば良い！



① 適切な廃果処理 捨てた果実がカラスに見つからないように…

- ☑ こまめに穴を埋め戻す
- ☑ トタンなどで覆って空から見えないようにする



トタンで囲む
ネットで覆う



② 収穫しない・できない樹をそのままにしない

- ☑ ぶどうの2番成りを放置しない
- ☑ 庭先の柿やクルミの樹で
手が届かない幹や枝は切り落とす



③ 集落の餌場をなくす

- ☑ 生ゴミの中身を外から見えないようにする
 - ➡ 新聞紙や紙袋で中身を覆ってからゴミ袋に入れる
- ☑ お墓のお供え物を置きっぱなしにしない
 - ➡ お参りしたあとは必ず持ち帰る